

留意点

①病床機能報告は、定性的な基準に基づく自己申告であり、報告結果もまだ流動的

②病床機能報告は病棟単位で4つの機能を選択するが、将来推計は患者数から推計しており、そのまま比較できるものではない

病床機能報告	将来推計		
<p>病棟A (30床)</p> <p>この病棟は、高度急性期機能 (自己申告)</p>	<p>ある日の病棟A</p> <table border="1"> <tr> <td>高度急性期機能相当の患者 15人</td> <td>急性期機能相当の患者 15人</td> </tr> </table>	高度急性期機能相当の患者 15人	急性期機能相当の患者 15人
高度急性期機能相当の患者 15人	急性期機能相当の患者 15人		

ここを高度急性期機能の推計に活用

※将来推計の考え方は、地域医療構想p.27-29

③日頃の診療や業務の中で感じている地域の実情を勘案しながら、地域の医療の現状を見ていく必要がある

区南部の状況

＜H27報告とH26報告の比較＞

- ・平成27年度報告は、高度急性期機能を選択した病床数は対前年比1,000床以上減、割合でも13.5ポイント減
- ・一方、急性期機能は、病床数で約1,000床増、割合でも12ポイント増

＜H27報告の特徴＞

- ・高度急性期機能を選択した病床の約7割が特定機能病院一般病棟入院基本料を届け出
- ・一般病棟7対1入院基本料を届出ている病床のうち、9割以上が急性期機能を選択(都平均は75%)
- ・回復期機能を選択した病院は、回復期リハビリテーション病棟入院料または、地域包括ケア病棟入院料/入院医療管理料を算定

＜H27報告と将来推計＞

- ・高度急性期機能を見ると、H27年度病床機能報告の病棟ごとの自己申告による報告は2,088床
- ・将来(2025年)の患者数は高度急性期機能相当(3,000点以上)で1,012人と推計され、その患者を診るために必要な病床数は1,349床
- ・但し、先のとおりにとのまま比較できるものではなく、約700床減らさなければならないという見方ではないことに留意

・そのままの比較は困難だが、将来推計において回復期機能が病床全体の31.9%を占めるのに対し、自己申告の値は5.5%とかなりのひらきがある。

・こうしたデータを参考にしながら、区南部において、不足すると考えられる機能や役割を検討する必要がある。

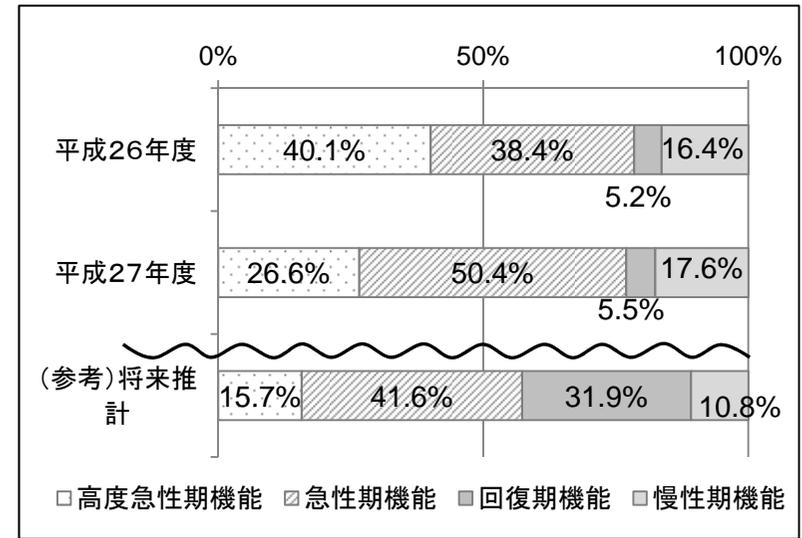
<データ1> 病床機能報告における4機能ごとの病床数

東京都地域医療構想 p.36、242-243参照

	高度急性期機能	急性期機能	回復期機能	慢性期機能	計※
平成26年度 報告結果	3,132床	3,001床	404床	1,279床	7,816床
	40.1%	38.4%	5.2%	16.4%	100.0%
平成27年度 報告結果	2,088床	3,954床	429床	1,380床	7,851床
	26.6%	50.4%	5.5%	17.6%	100.0%

※休棟及び未報告分を除く。割合(%)は機能ごとに小数点第二位を四捨五入。

(参考) 将来 推計	患者数	1,012人	2,780人	2,457人	853人	7,102人
	病床数	1,349床	3,564床	2,730床	927床	8,570床
2013年 推計足元	病床数	1,178.0床	2,957.1床	2,208.3床	1,689.6床	8,033.0床
		15.7%	41.6%	31.9%	10.8%	100.0%

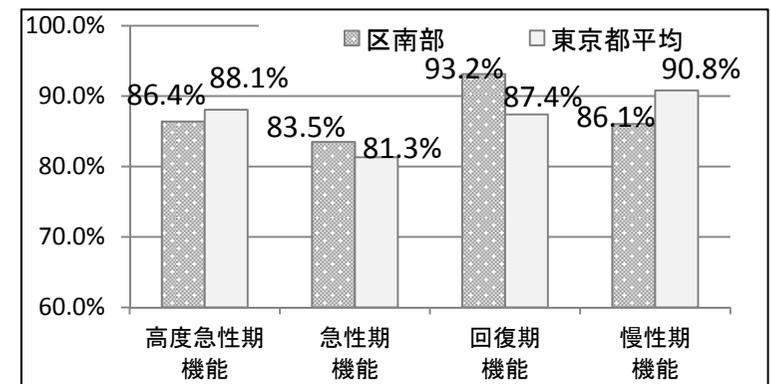


<データ2> 4機能と入院基本料

(床)

	高度急性期機能	急性期機能	回復期機能	慢性期機能
1 特定機能病院 一般病棟入院 基本料	1,448	一般病棟7対1 入院基本料 2,722	回復期リハビリ テーション病棟入 院料 332	療養病棟入院 基本料 799
2 一般病棟7対 1入院基本料	243	一般病棟10対 1入院基本料 622	地域包括ケア病 棟入院料/入院 医療管理料 97	介護療養病床 333
3 小児入院医療 管理料	145	一般病棟15対 1入院基本料 144		有床診療所入 院基本料 68
4 特定集中治療 室管理料	86	地域包括ケア 病棟入院料/ 入院医療管理 料 115		障害者施設等 入院基本料 49
5 ハイケアユニッ ト入院医療管 理料	50	一般病棟特別 入院基本料 112		緩和ケア病棟 入院料 13

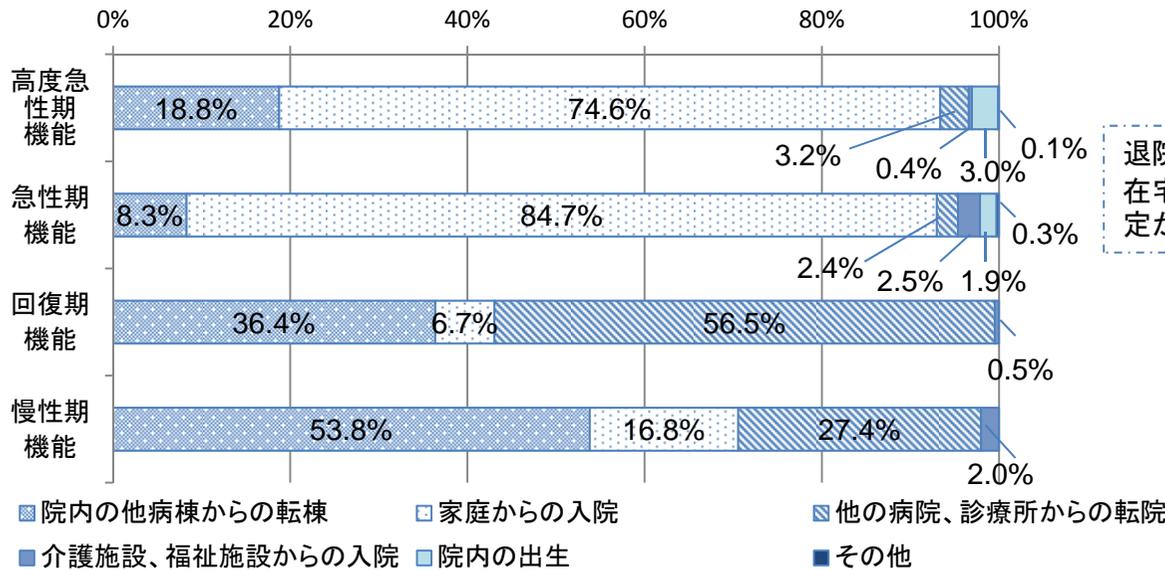
<データ3> 4機能と病床稼働率(病院)



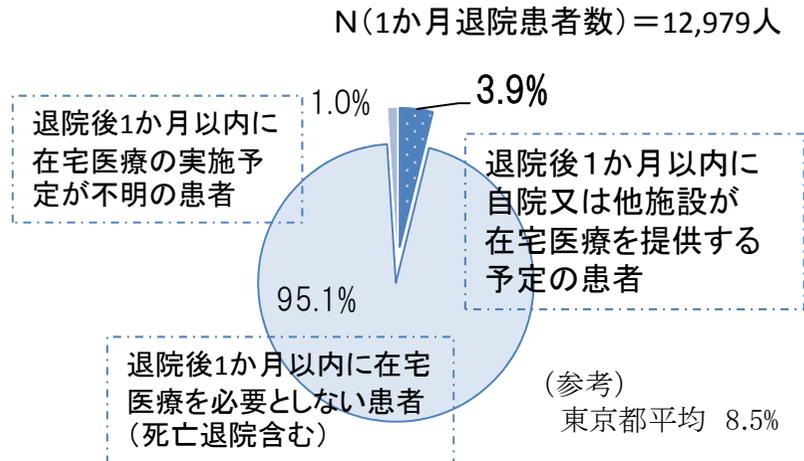
<データ4> 4機能と平均在院日数(病院)

機能	高度急性期機能	急性期機能	回復期機能	慢性期機能
平均在院日数	9.3日	9.8日	67.7日	236.9日

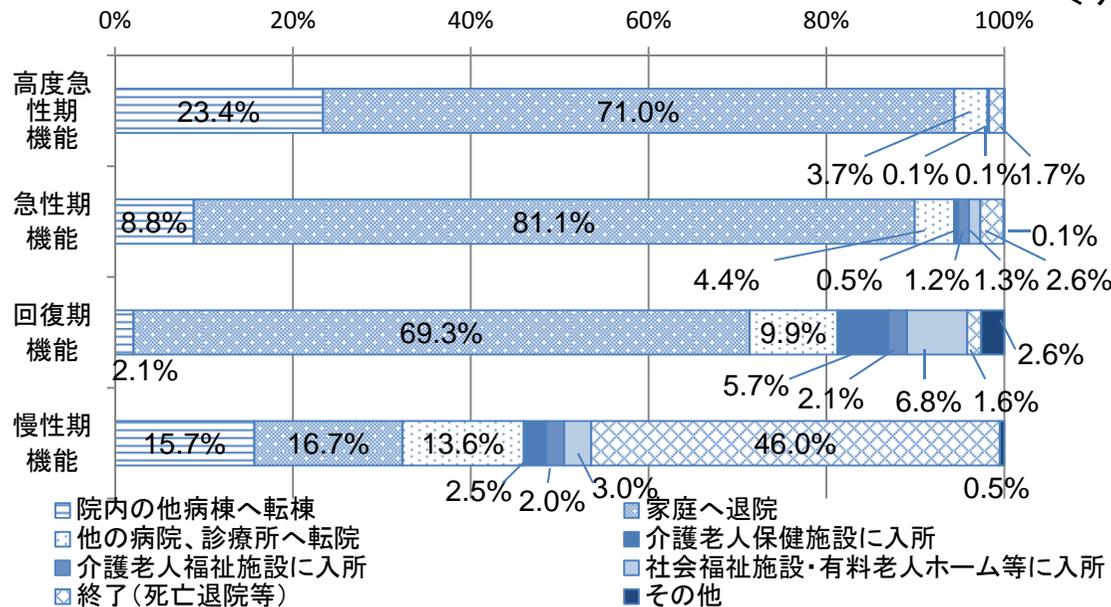
<データ5> 新規入棟患者の入棟前の場所（病院）



<データ7> 退院後に在宅医療を必要とする患者の割合（病院）



<データ6> 退棟患者の退棟先の場所（病院）



<データ8> 有床診療所が地域で果たしている役割

有床診の病床の役割	施設数	割合
病院からの早期退院患者の在宅・介護施設への受け渡し機能	2施設	10.0%
専門医療を担って病院の役割を補完する機能	4施設	20.0%
緊急時に対応する機能	6施設	30.0%
在宅医療の拠点としての機能	3施設	15.0%
終末期医療を担う機能	4施設	20.0%
いずれにも該当しない	5施設	25.0%

注 報告のあった20施設を集計。複数回答可。